

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	麻薬取締部監察業務の充実強化			担当部局庁	医薬・生活衛生局			作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	監視指導・麻薬対策課			課長 磯部 総一郎	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	平成29年4月に設置した「麻薬取締部監察官室」における監察により、取締りの透明性の確保と厳格な法令遵守の徹底を図る。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	厚生労働省組織規則第708条に規定する麻薬取締部の所掌事務に関する以下の監察を行うとともに、未然防止のための啓発を行う。 ・定期自主点検 ・通常監察 ・緊急監察 ・随時監察(フォローアップ監察)								
実施方法	直接実施								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	2		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	0	2		
	執行額		0	0	0				
	執行率 (%)		-	-	-				
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		-	-	-					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	-	1						
	諸謝金	-	1						
	委員等旅費	-	0						
	計	-	2						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-								
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績					
	主たる事業は麻薬取締部への監察の実施であり、目標値の設定は馴染まないため。			全麻薬取締部(支所及び分室を含む)に対する監察を実施し、取締の透明性の確保を図る。					
	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 30 年度
事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	麻薬取締部職員に対する 予防啓発の実施数	啓発実施回数	実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	回	-	-	-	-	2
			達成度	%	-	-	-	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込			
全麻薬取締部(支所及び分室を含む)に対する通常監察の実施		活動実績		-	-	-	-	-	-			
		当初見込み		回	-	-	-	-	12			
単位当たりコスト		算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
単位当たりコスト=X(通常監察に要した旅費)÷Y(通常監察の実施施設数)		単位当たりコスト		-	-	-	-	-				
		計算式		/	-	-	-	-				
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	麻薬・覚醒剤等の乱用を防止すること(Ⅱ-3)										
		規制されている乱用薬物について、不正流通の遮断及び乱用防止を推進すること(Ⅱ-3-1)										
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度		
								-	年度	-	年度	
		実績値		-	-	-	-	-	-	-		
	目標値		-	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	通常監察の実施により、取締りの透明性の確保と厳格な法令遵守の徹底が図れる。											
	改革項目	分野:	-									
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時		28年度	29年度	中間目標		目標最終年度
				-		年度	-			年度	-	年度
成果実績				-	-	-	-	-	-	-		
目標値			-	-	-	-	-	-	-			
達成度			%	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時		28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
			-		年度	-			年度	-	年度	
	成果実績		-	-	-	-	-	-	-			
目標値		-	-	-	-	-	-	-				
達成度		%	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

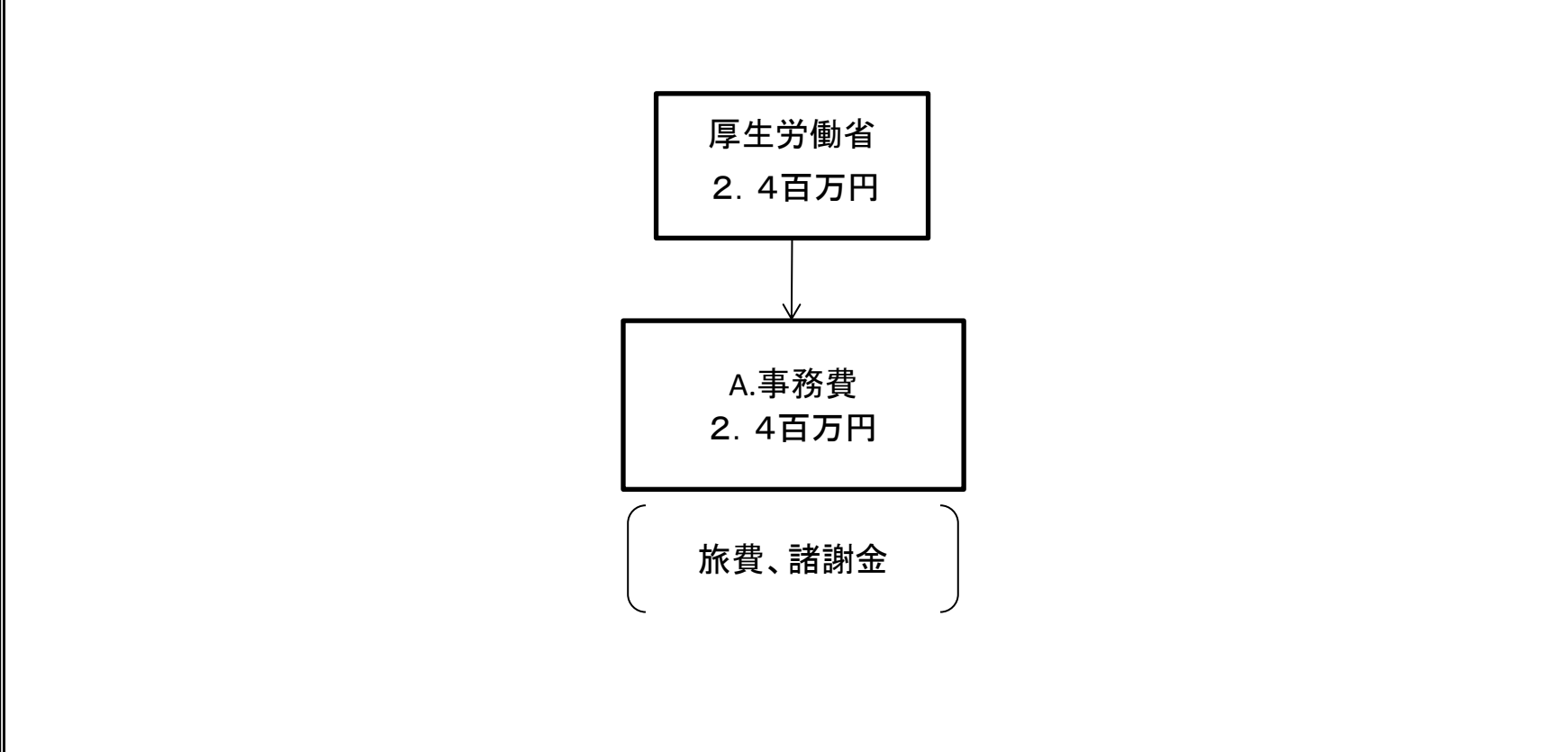
事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善							
	項目	評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	麻薬取締官が特別司法警察員として行う取締りの透明化を図ることは、国民の信頼向上に繋がることから、ニーズを反映している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	麻薬取締官は厚生労働大臣が命ずるものであることから、国が実施すべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	非違行為の発見及び未然防止を行うためには監察が最も有効な手段である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名		-	-
所管府省名	事業番号	事業名					
	-	-					
点検・改善結果	点検結果	-					
	改善の方向性	-					
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-
平成28年度	-				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A-			B-		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	